

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

|                              |  |                              |                                |
|------------------------------|--|------------------------------|--------------------------------|
| 小委員会名                        | 燃焼排ガス汚染の特徴と対策小委員会  |                              | 主 査 名：野崎 淳夫<br>就任年月：2015 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 環境工学委員会<br>(企画刊行運営委員会)   |                              | 委員長名：羽山 広文<br>主 査 名：村上 公哉      |
| 設 置 期 間                      | 2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月  |                              |                                |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼排ガス汚染を引き起こす発生源について、汚染物質、発生量、発生特性などについての体系的な情報収集</li> <li>・空気汚染の特性や汚染防止対策に関する分かりやすい書籍の刊行</li> </ul> |                              |                                |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | 委員公募の有無：無し   |                              |                                |
|                              | 主査：野崎 淳夫<br>幹事：東 賢一<br>委員：池田 耕一、大澤 元毅、鍵 直樹、篠原 直秀、関根 嘉香、成田 泰章、二科 妃里、長谷川 麻子、水越 厚史、柳 宇  |                              |                                |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           |  |                              |                                |
| 2016 年度予算                    | 400,000 円  | ホームページ公開の有無：<br>委員会 HP アドレス： |                                |

| 項 目   | 自己評価  |
|---|---|
| 委員会開催数  | 8 回 (年度内計画を含む)  |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)                     |   |
| 講習会   |   |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会<br>承認企画 |   |
| 大会研究集会  |   |
| 対外的意見表明・パ<br>ブリックコメント等                        |   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得ら<br>れた成果との関係)            | 1. 出版に結び付く燃焼排ガス関連の情報収集作業を完了させた。<br>2. 発生源毎に生成ガスの種別とその発生量・発生特性を調査した。また、汚染防止に必要な対策法を詳しく述べる内容の目次案を作成した。<br>3. 特に、現行の工学的な規制基準と照らし合わせ、室内濃度レベルと個人暴露量との関係に関わる検討作業を行った。<br>4. 作業を基に目次、執筆担当者を選出し、原稿を完成させた。 |
| 委員会活動の問題点<br>・課題                              | 1. 委員の出席状況はよく、特に問題はない。<br>2. 効率よく、執筆・査読を進め、作成原稿を製本・出版させることが課題である。   |

## 2016 年度 小委員会活動 自己評価

### (最終年度評価)

| 総合評価<br>(4 段階評価)                | A  | B | C | D |
|---------------------------------|--|---|---|---|
| 総合評価に関する<br>自由記述欄<br>(理由、特記事項等) | <p>燃焼排ガス汚染を引き起こす発生源について、汚染物質、発生量、発生特性などについての体系的な情報収集を行い、これらを分かりやすい書籍にまとめ上げるため、目次の作成、執筆担当者を選出し、原稿を執筆した。</p> <p>具体的には住宅用燃焼器具が引き起こす室内環境、建築環境などの諸問題について、その内容やメカニズムを解説し、関連する法規制、業界基準を整理した。同時に、現行設計法、施工法、メンテナンス法、消費者行動などを記述し、何が整備され、何が不足しているかを明らかにした。</p> <p>読者に対して、燃焼器具が建築物で使われる際の室内環境の変化、問題、解決策、留意点などを明示した。例えば、実際の建築物では、空気汚染を引き起こす開放型器具が使用される。時として、深甚な室内空気汚染を起こすことも知られているが、広く購入され使用されているのが事実であり、先進国では特異な状況にある。なぜ、このような事態になるかを室内空気質のみならず幅広い視点で考察した。</p> |   |   |   |

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。